

平成26年度 事業報告

- ・ 社会福祉法人 タンポポのはら 法人本部
- ・ 生活介護事業
- ・ 就労継続B型事業

社会福祉法人タンポポのはら

平成26年度 社会福祉法人タンポポのはら

事業報告

1. はじめに

社会福祉法人タンポポのはらは、平成19年に事業を開始し8年が経過いたしました。平成26年度については、新会計移行の準備、事業所の修繕や活動場所の手狭問題など、職員間で議論してきました。手狭問題では新規利用者さんを含めた利用者人数を鑑みながら、計画を立てていく必要性を確認しています。

安定した法人運営と質の高いサービス提供のため法人指針を基に、法人運営をおこなってきましたが、人材不足は当法人に限らず社会福祉事業全般に影響をあたえ、各大学、専門学校などへの求人にも応募者がなく、嘗てない福祉離れが影響しました。人材の確保は今後においても大きな課題の1つになります。

社会福祉法人タンポポのはら法人指針

- ①社会や地域の様々な福祉需要にきめ細かく応えていく法人運営
 - ・自閉症を含む重い障がいのある方への支援体制
- ②新規事業並び、継続的事業のための財源の確保
 - ・修繕費積立、人件費積立
- ③職員の育成と人材の確保
 - ・研修等への参加や内部研修の開催
- ④利用者支援の専門性と職員の質の向上
 - ・自閉症研究会、知的障がい者福祉協会
- ⑤職能評価の導入と労働条件の改善
 - ・職能評価表の準備
- ⑥後援会活動の支援
 - ・ニーズ調査と保護者懇談会の開催準備

2. 法人本部報告

(1) 理事会の開催

開催回	日時	場所	内容
第1回	H26.5.27(火)	社会福祉法人 タンポポのはら	H25年度 事業報告(案)について H25年度 収支決算(案)について H26年度 第一次補正予算 H26年度 第1回監事監査報告
第2回	H26.10.8(水)	社会福祉法人 タンポポのはら	自動車運行管理規程 改定案 個人情報保護規程 改定案 顕彰規程 改定案 役員改選、選任 H26年度 第2回監事監査報告

第3回	H26. 10. 14(火)	社会福祉法人 タンポポのはら	社会福祉法人タンポポのはら理事長選任
第4回	H26. 12. 12 (金)	社会福祉法人 タンポポのはら	役員等の報酬等に関する規程 改定案 H26年度 第3回監事監査報告
第5回	H27. 3. 9 (月)	社会福祉法人 タンポポのはら	H26年度 第二次補正予算 案 ギャラリーヴィン増築計画 案 H27年度 事業計画 案 H27年度 収支予算 案 給与規程 改定案 経理規程 改定案 H26年度 第4回監事監査報告

(2) 評議員会の開催

開催回	日 時	場 所	内 容
第1回	H26. 5. 27 (火)	社会福祉法人 タンポポのはら	H25年度 事業報告(案)について H25年度 収支決算(案)について H26年度 第一次補正予算 H26年度 第1回監事監査報告
第2回	H26. 10. 8 (水)	社会福祉法人 タンポポのはら	自動車運行管理規程 改定案 個人情報保護規程 改定案 顕彰規程 改定案 役員改選、選任 H26年度 第2回監事監査報告
第3回	H27. 3. 9 (月)	社会福祉法人 タンポポのはら	H26年度 第二次補正予算 案 ギャラリーヴィン増築計画 案 H27年度 事業計画 案 H27年度 収支予算 案 給与規程 改定案 経理規程 改定案 H26年度 第3.4回監事監査報告

(3) 監事監査の実施

開催回	日 時	場 所	内 容
第1回	①H26. 5. 14 (水) ②H26. 5. 16 (金)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事)
第2回	①H26. 8. 11 (月) ②H26. 8. 20 (水)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事)

第3回	①H26.11.10(月) ②H26.12.5(金)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事)
第4回	①H27.2.18(水) ②H27.2.20(金)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事)

(4) 研修報告(別紙参照)

ギャラリーヴィン事業報告

1. はじめに

平成26年度当初、職員それぞれに目標を掲げてもらい、年度末にはその達成度や目標の再設定をおこなってもらいました。自分の課題が明らかになり苦手な分野にどう取り組むかを管理職と一緒に考えました。管理職も職員が抱えている課題を知ることで、何を強化していけば良いかが明確になり、職員全体のモチベーションをあげることに一役買ったと思われまます。

研修は内外を問わずその機会を増やしましたが、職員の自主性に任せているため、参加数は伸びませんでした。なお、生活介護事業、就労継続支援B型事業は下記の通りです。

2. 生活介護事業

毎朝の情緒や体調面の確認を行い、それに基づいた活動の提示を行いました。それぞれの情緒の安定を図ることを柱に、自立と自助の技術の発達と、より人生を楽しむための興味や趣味を発見し伸ばすことを重視した取り組みを行いました。

一日の主な活動内容は、紙漉き、個別集中ワーク、体操や散歩、レクリエーション、創作活動などを実施しました。体操や散歩、レクリエーションでは、楽しみながら体を動かすことで、ストレスの発散や体力作り、身体的な機能の低下を防ぎ、健康の維持・向上を図る目的で行いました。3か所ある個室は、複数の利用者さんが時間差で使用しました。他者の動きや雑音等の刺激が気になり活動に集中することが苦手な利用者さんが、落ちついて活動に取り組んだり、クールダウン(気持ちが高ぶっている時に自らの力で冷静になること)する空間として活用されました。作業や創作活動は、指先を使うことを重視しながら、紙漉き、クレヨン画、貼り絵などを本人のペースで落ち着いて取り組めるよう支援しました。編み物や手芸などの活動では、簡易的な道具を上手に使いこなせるようになり、毎日の活動として継続して取り組んでいます。出来上がった作品は「アートなひろば」で展示できることを目標に、利用者さんそれぞれの個性や興味に対応できるように取り組みました。今後も毎日、少しずつ取り組むことで一つの作品が出来ることの楽しさを感じてもらえたらと考えています。季節限定で海洋センターB&Gのプールでの水泳を行いました。余暇イベントとして土曜日に花見、公園散歩、焼肉パーティー、収穫祭、地域お祭り参加、カラオケパーティー等の行事を7回行いました。出席率もよく、いつもと違う活動として楽しんで参加する様子が見られました。また、生産活動ではビニールハウスでの原木椎茸栽培、畑ではハマボウフウ他、野菜の栽培、ミニひまわりやグリーンの栽培を行い、それを用いてミニブーケの作製、販売の他、新しくゴミ袋のたたみ作業を受託しました。

(1) 1日の活動の主な流れ

～ 午 前 ～	～ 午 後 ～
朝の掃除	口腔ケア
朝のミーティング	体 操 (ストレッチ)
体 操 (ダンス)	活 動 (創作活動・紙漉き・散歩・園芸)
活 動 (牛乳パック作業・個別ワーク ・刺繍・受託作業・園芸・パン配達)	レクリエーション
休 憩	帰りの掃除
レクリエーション	帰りのミーティング
	送 迎

(2) 紙造形 (工房ゆらゆら)

紙漉きを行うための下準備として、また、指先を使い机に向かって落ち着いて出来る作業として牛乳パックのラミネート剥しやチップ作り、牛乳パック切りを、それぞれが自分たちのペースで行いました。毎日取り組む活動として、定着しておりスムーズに取り組むことが出来ます。同じ作業の繰り返しに飽きている様子が見られた場合や、集中力を継続することが難しい利用者には、得意な工程で力を発揮できるよう取り組みました。また、苦手なことにも無理のないペースで少しずつ挑戦できるよう支援しました。漉いた紙は創作活動で使用し絵を描いたりする他、立体的な作品作りにも使用しました。

(3) 創作活動

個別にじっくり取り組むクレヨンやマジックで絵を描く活動のほか、立体的な作品作り、貼り絵等を行いました。貼り絵の材料には紙漉きで漉いた紙の他にカレンダー等身近な素材を生かして、複数の人が携わり作品を作り上げ展示しました。また、編み物、刺繍、織りにも取り組み、刺繍は毎日の活動として定着しています。

(4) 個別ワーク

個別に 毎日 20 分～30 分程度、取り組めるよう支援しました。利用者さんそれぞれの得手不得手や能力を考慮し、数種類のワークを用意しています。継続して取り組むことで少しずつ理解し、楽しさ、達成感を感じながら一定時間集中して取り組むことが出来るようになることを目標としています。毎日行う活動であることは定着し、スムーズに取り組む様子が見られます。今後は、ワークの難易度に留意しながら、持っている力を伸ばしつつ、興味の幅を広げられるように支援します。個人の障害特性を考慮し、個室で取り組む事が理想的なのですが、現在、3箇所しかないため、長机で2人ずつの他、その時使用できる個室を順番に使用している状態でワークエリアの個室数を確保していく必要があると感じています。

(5) 健康の維持・増進

昼食後に口腔ケアの時間を設けて見守りと介助を行いながら、歯磨きの習慣づけと口腔内を清潔に保つことで快適さを覚えることが出来るよう支援しました。石狩市の歯科衛生士、保健師による定期検診も行いました。また、月に一回、体重、血圧、体温の測定を行い、継続して記録をとることで、一人一人の平均的な数値を把握し、体調の変化の早期発見に努めました。記録したデータは家庭での

健康管理に役立ててもらえるよう、3ヶ月に一度記録表を配布しました。

(6) 体力づくり

体操（ダンス）、ウォーキング等、楽しく体を動かしながらの体力づくり、気分転換を目標に行いました。その日の天候や利用者さんの体調により内容を変えながら、作業とのメリハリが作れるよう支援しました。天候の良い日は、スポーツ広場や、石狩市図書館までのウォーキングを行い、個々の体力や歩く距離、速さに合わせたグループ作りで、皆が無理なく参加できるよう配慮しました。また、2台あるエアロバイクに乗ることも、毎日の日課として定着しています。

(7) レクリエーション

的当て・輪投げ・ボーリングなどのゲームを始め、絵カード合わせ、パズル、紙芝居など様々な内容を提供しました。興味のあることがそれぞれ違うため、毎日数種類のリクエストを取り入れた遊びを提供しています。数名でゲームをする他に一人で個室やお気に入りの場所で静かに本を読んだりする時間にもなっています。また、ボランティアさんによる絵本や紙芝居を読み聞かせてくれる時間は、いつもと違うレクリエーションとして定着し楽しんでいきます。不定期でボランティアのインストラクターを招き「ズンバエクササイズ」も行いました。特に冬季間、屋内での活動が多くなりがちであるため、汗をかく程度に体を動かす活動はとても有意義です。

(8) お楽しみ DAY

日々の日課に少しでも変化をもたせるため、誰もが楽しみながら行える活動となるよう、月1～2回のペースで実施しました。ホットケーキ、クレープ、ピザ、どら焼き、フルーツゼリーなど、皆が楽しんで参加することが出来るおやつ作りとうどん作り挑戦しました。いずれの活動でも、利用者さん一人一人が出来ること、得意なこと、楽しめることが異なるため、それぞれが様々な工程の中で関わられるように配慮しました。毎月1回行われるうどん作りでは、「うどん踏み」の活動が定着しており、皆で踏んだあとには「美味しいうどんが食べられる」ことを楽しみにしながら取り組みました。うどんつゆに入っている椎茸や長ネギは園芸活動で栽培したものを使用しました。

(9) 土曜余暇イベント

5月	百合が原公園 花見悪天候の中でしたが、リリートレインに乗車したり温室の植物鑑賞し、食事を楽しみました。
6月	さとらんど 広い公園内を散策し、動物とふれあい、乗り物に乗り、食事を楽しみました。
7月	焼肉パーティー ヴィンテラスで焼肉を美味しく食べました。皆、おかわりをして沢山食べていました。
8月	まるごとフェスタ お祭り見学。新港で開催されたお祭りに出かけ、買い物をしました。
9月	特定非営利活動法人 ふれあい広場タンポポのはらまつり お祭りに参加し昼食、買い物をしました。

10月	収穫祭 ヴィンの畑で栽培、収穫された野菜で調理をして昼食会を行いました。餃子と豚汁、かぼちの煮物を作りおいしく食べました。
11月	カラオケパーティー 少し早めの忘年会を行いました。大人数でカラオケと食事を楽しみました。
3月	お好み焼きパーティー みんなで調理をしておいしく食べることができました。

(10) 生産活動

①会報（タンポポのはら通信）

発送に関する作業を受託しています。郵送用の封筒の準備（スタンプ押し、ラベル貼り、封筒のカット）会報の折り、会報入れ、テープ貼りを行いました。作業工程を分割して提供することで、得意な工程を担当し積極的に取り組むことが出来ました。封筒の準備は人気のある作業ですが、作業量が少ないため思うような作業量の提供が出来ていないのが現状です。

・原木による椎茸栽培

散水、浸水、ホダ木の組み直し、収穫と様々な工程での取り組みを行いました。今年は昨年ほど、ネズミ、ナメクジ、ワラジムシ等の害虫の被害は見られず、約60kgの収穫ができました。発酵機で乾燥加工した椎茸を所内で販売した他、うどん作りでの消費となりました。

②畑

これまで継続して栽培しているハマボウフウ、長ネギの他に寄贈して頂いた苗や種でミョウガ、かぼちゃ、ニラ、小豆の栽培に挑戦しました。土作り、種まき、散水、草取り、収穫の作業を行いました。今年2年目になる小豆の栽培は畝を倍に増やし倍の収穫がありました。しかし、収穫後の乾燥が不十分で害虫の被害に合い、多くを廃棄する結果になってしまいました。わずかに所内で販売した他はお楽しみDAYでの消費となりました。

大村花き園さんのカーネーションを使用したミニブーケ作りまた、カーネーションと同様にブーケとして使用する季節限定の作業として楽しみにしており、余分な葉を取る作業を中心に取り組みました。ミニひまわりやハーブの栽培を花壇やプランターで行い、種蒔き、散水、植え替えの作業を行いました。今年も、害虫の被害を受けることが多く苦労しましたが段階的に種まきを行い、ミニひまわりを咲かせることが出来ました。

③事業所内外のゴミ拾い、草取り、除雪

季節に応じて必要な環境整備を行いました。毎日除雪作業、3月下旬からは雪割り作業を行いました。除雪業者により土や砂利が大量にえぐられたため、土や砂利運びをして環境を整えました。また、朝は玄関付近を、活動終了後にはトイレの清掃を毎日の習慣として行えるように支援しました。これらの活動には全員が取り組めるわけではありませんが、可能な利用者さんには積極的に取り組んでもらえるよう支援しました。また、週に一度のペースで室内や個別集中ワーク部品の用具消毒作業を行いました。

3. 就労継続支援B型

(1) 処遇について

今年度は「質の向上」をスローガンとして掲げ、商品の品質、接客・サービスの質、支援の質について、日々改善の取り組みを行いました。

これまでもパン・菓子の製造から包装までのすべての工程に、利用者さんが主体となって取り組めるような支援を継続して行ってきました。今年度は、「クロボー」「しろぼー」など、利用者さんが製造した製品がたくさんのお客様から支持をいただいたヒット商品が生まれました。利用者さん一人ひとりの得意不得意をアセスメントし得意分野で、やりがいや充実感に直結する作業を創り出す工夫・努力を重ねました。その結果、利用者さんがより主体的に作業に取り組める環境を提供することで「支援」に重点を置くことができるようになりました。作業空間、生活空間、作業手順それぞれに構造化を取り入れ、複雑で出来なかったことが出来るようになったり、理解出来なかったことが理解出来るようになったりと、利用者さんにとって活躍できる場面が広がったといえます。そして、それはまた私たち職員にとっても大きな成果、大きな喜びとなりました。利用者さん、職員それぞれ「パン菓子工房パーケリー」のスタッフの一人として、お客様一人ひとりに喜びや感動をお届けしようという意識の変革が生まれ、今日も一日共に働こう、共にがんばろうという意識がそれぞれに芽生えたこと、それらが結果に結びついたことが今年度の最大の収穫だったと言えるのではないかと思います。

(2) 具体的な取り組み

①作業内容

今年度は、新商品の開発に力を入れ、顧客ニーズの掘り起こし、販売売上増、新たな利用者作業の創出を同時に目指しました。パン商品では、石狩市内の生産者様にご協力をいただき、旬の地産地消商品を多数開発、販売いたしました。ラスク・焼き菓子商品については、包装形態を変えることで、賞味期限を7日間から30日間と延長することができ、パッケージデザインも統一したおしゃれなものへと変更することで、お客様に喜ばれるものへと生まれ変わりました。また、新たなラスク・焼き菓子商品も多数開発し、それらは利用者さんが主体となって取り組める作業にできるよう工夫しました。

パン・菓子の計量、パンの成形、菓子作り、ラスク作り、袋詰め等の製造作業の他に注文表や伝票の管理、パンや菓子の袋の準備、消費期限・賞味期限の印字のチェック、商品タグの作成等の作業を分担して行うことで、それぞれがなんらかの形で商品作りにかかわり、役割と責任を持てるように工夫しました。

「パンショップ」は2年目の営業となり、前年比20%増の120万円の売上を計上しました。ショップでは、職員の見守り、支援のもと、開店前の清掃や準備、パンの包装や接客、商品の陳列などに利用者さんが携わりました。

②衛生面について

今年度も継続した衛生管理に努め、着替えの際にヘアバンド、ヘアピンの装着やネット帽の着用が確実にされるような利用者さんに対する介助・指導を行いました。また、アリやハエ等の害虫に対する対策も、昨年同様に実施いたしました。その他の取り組みとして、一般生菌、大腸菌群、その他近年話題となっている病原菌ウイルスに対する対策として、毎日始業前、就業後にすべての取っ手類を次亜塩素素によって拭きあげ消毒し、作業中にもアルコール噴霧による消毒を実施いたしました。また、器具洗浄用のスポンジやまな板などの器具類を次亜塩素素によって漬け込み消毒をし、各機械設備

の清掃、冷蔵冷凍庫、ホイロなどの庫内清掃を定期的にも実施いたしました。

今年度は「ゼロクレーム」を達成することができました。日々の努力、「品質の向上」に対する意識の高さがもたらした結果となりました。今後も「ゼロクレーム」を継続し、お客様にご満足いただける商品をご提供できるよう日々しっかりと取り組んでまいります。

③稼働日

パン・菓子の製造を月曜日～土曜日で行ってきました。土曜日の稼働は4月から11月まで実施し一日の売り上げが30,000円以上の日もありました。

④販売及び配達について

戸別配達については毎月、注文表を配付し予約制で行い、花畔、花川地区を中心に行いました。外販活動については養護学校（札幌高等養護学校、拓北養護学校、豊明高等養護学校、星置養護学校、ほしみ高等学園）それぞれで月に1回、パーケリーとしては週に1～2回の定期販売を行ってきました。また、地域で行われるイベントにも積極的に参加しました。

委託販売については、りんくる福祉の店、石狩市市民活動情報センターぽぽら一と、石狩市役所、JAいしかり地物市場「とれのさと」、図書館売店などでの委託販売を行ってきました。

今年度は、道事業「北海道授産製品磨き上げ支援事業」に参加、研修会で販売ノウハウ等について学習し、商品改善を実施し、アリオやチカホなどで、実証販売会を行いました。また、この事業に参加したことで、道内各地の事業所との情報交換、交流の機会を得ることが出来ました。2月のチカホ販売会では、リピーターが続出し「クロボー」が連日早々に完売となり、生産が追いつかない状況となりました。北海道知事と札幌市長の会談の際には「クロボー」がお茶菓子として採用される出来事もありました。

パンのさらなる品質向上に努める傍ら、「クロボー」というアイデア商品を大切に育て、「クロボーのパーケリー」として広く認知されることも、ブランドを確立していく上で重要なのではないかと思います。

⑤工賃について

平成26年度規定を変更し、全体的に底上げをおこないました。（下図参照）売上が伸びたことで12月にはボーナスを支給することができました。

年々、工賃支給額が増加しておりますが、パン事業での収益を着実に伸ばし、僅かながら積み立ても出来ている状況となっております。また、工賃向上計画により一定の水準をクリアすることにより、目標工賃達成加算が受けられる状況も視野に入ってきました。

工賃表

時給	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
H25年度	55円	75円	90円	110円	130円		
H26年度	60円	80円	100円	120円	130円	140円	150円